

水にかかわる自然と文化の [志木まるごと博物館化計画]

舟運で栄えた歴史や江戸時代からの堤防、
水塚、そしてアユやカワセミ……

志木には水にかかわる文化財や自然がい
っぱいあります。

そんな地域をまるごと博物館ととらえ、
地域の「お宝」をみんなと一緒に楽しみ、子
どもたちに伝えていく。

それが、わたしたち市民プロジェクトチ
ームが主体となってすすめる『志木まるご
と博物館化計画』です。



志木まるごと博物館 河童のつづら

<http://homepage3.nifty.com/moh/kappa/>

〈志木まるごと博物館 河童のつづらプロジェクトチーム〉

NPO法人エコシティ志木
353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108
電話 048-471-1338 (天田)

共催：(財)埼玉県生態系保護協会志木支部

生活協同組合ドゥコープ
2009年度市民活動支援金助成事業

志木の「お宝」クイズ

正しい答えの番号を
選んでください。



クイズ
1

いろは橋の「いろは」は？



明治30年ころのいろは橋「ふるさと写真集」より

1662年、野火止用水の水を、
新河岸川を超えて宗岡地区に
流すために「いろは橋」がか
けられました。
なぜ「いろは」という名前に
なったのでしょうか？

- ① いろは文字を教える寺子屋が近くにあった
- ② いろは橋のすぐ下流に作られたから
- ③ いろは48文字と同数の樋をつなげてあった

クイズ
2

江戸時代の堤防は？



宗岡地区には江戸時代につく
られた堤防が今でも遊歩道な
どとして残っています。
それは当時どんな堤防だった
のでしょうか？

- ① 農家の屋根の高さまである高い堤防だった
- ② 一軒一軒を囲んでいた
- ③ 宗岡地区をまるごと囲んでいた

クイズ
3

新河岸川はどこへ？



志木市役所のそばを流れる新
河岸川は、昭和6年まで舟運
がおこなわれ舟が行き来して
いました。
その新河岸川はどこへ流れて
いますか？

- ① 多摩川に合流して太平洋に
- ② 柳瀬川に合流して狭山湖に
- ③ 隅田川に合流して東京湾に

*クイズの答えは内面にあります。

志木まるごと博物館化計画



水にかかわる自然と文化を まるごと楽しもう!!

斜面林は生き物の宝庫



昭和(左)と平成(右)の堤防



柳瀬川で川の生き物調べ



いろは樋のモニュメント



水塚を訪ねて地域と交流



まるごと博物館

大航海時代の探検家たちは命をかけて遠くに出かけ、お宝を発見しては持ち帰り自慢していました。

まるごと博物館では、自分が住んでいる近所のお宝を発見し、その場で一緒になってまもり、自分のもののように自慢します。モノだけでなく人とのふれあひも大切にする、それがまるごと博物館です。

柳瀬川の河童

むかし、柳瀬川にすんでいた河童が馬にいたずらしようとしてけがをし、弱っているところを宝幢寺の和尚さんに助けられました。

そんな伝説が残されている柳瀬川の河童さまに、「河童のつづら」の名誉館長になっていただいています。

河童のつづらの「つづら」

つづらとは、ツヅラフジという植物のつるであんだ「かご」のことで、服などたいせつなものをしまっておくものでした。

昔話「したきりすずめ」にでてくる「小さいつづら」にはお宝がざくざくとつまっていました。というわけで、お宝といえば「つづら」。それが河童のつづらの名前の由来です。

志木まるごと博物館化計画の
たとえば、こんな歩み……



*志木の「お宝」クイズの答え↓クイズ1||③ クイズ2||③ クイズ3||③